

前橋文学館企画展 私が出会った表現者たちⅢ 「通り過ぎる電車のように 安藤紘平」を開催します

萩原朔美館長が出会った表現者たちを取り上げるシリーズの第3弾として、映像作家の安藤紘平さんを紹介します。

安藤さんはかつて寺山修司が主宰した「演劇実験室・天井桟敷」で制作をしており、「ネクタイの似合うただ一人の劇団員」として活躍。海外公演中に寺山修司と折半して16mmカメラを購入したことがきっかけで、映像の世界と出会います。その後、TBS社員として勤務する傍ら、ハイビジョンに先鞭をつけた制作者として世界的に高い評価を得ています。

今回の企画展では、制作者・技術者・表現者の3つの顔を持つ安藤さんの世界を、映像作品を中心に紹介します。

- 開催期間 令和2年7月23日（木・祝）～9月22日（火・祝）
- 開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 休館日 水曜日
- 会場 前橋文学館3階オープンギャラリー（千代田町三丁目12-10）
- 観覧料 無料
- 特記事項 展覧会初日（7月23日）に安藤紘平さんが来館します。

本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 文学館

電話 外線 027-235-8011